

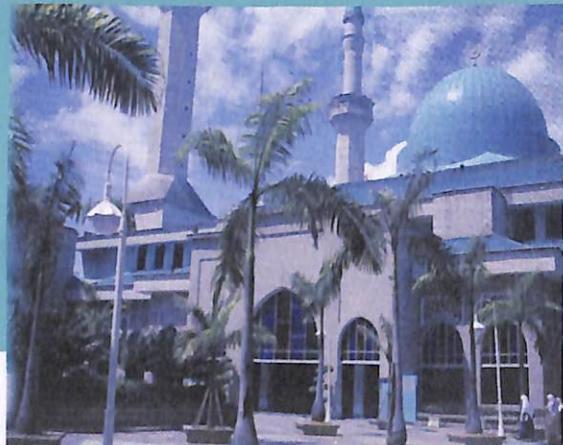
ISBN 978-4-903878-10-2

Toyo
University

Pendidikan Islam di Dunia Melayu

Perbandingan Malaysia dan Indonesia

NISHINO setsuo ed.



**Pusat Studi Asia
Lembaga Penelitian kebudayaan Asia
Universitas Toyo
Tokyo 2010**

3.2 インドネシアのイスラーム教育改革

ストリスノ・

(Strisno)

はじめに

最近、インドネシアのイスラーム教育は次第に注目されるようになり、議論も広がっている。このことは、おそらくイスラーム的な教育組織に基盤を置くと推測されるテロ事件との関連からであろう。しかし、なぜイスラーム教育が注目され議論されるかという理由としては、いくつか考えられる。一つはイスラーム教育はイスラーム社会およびイスラーム共同体と一体であり、教育を切り離して考えられないからである¹。さらに、イスラームはインドネシアの住民の多数が信仰する宗教である。第二に、インドネシアのイスラーム教育は長い道のりを経てきているということである²。第3にインドネシアが最大のムスリム国家であるだけでなく、最も多くのイスラーム教育機関をもっていることである³。第4にインドネシアの学者の多くがイスラーム教育機関で学んだ経験があるということである。たとえば、イドハム・ハリッド Idham Khalid、アグス・サリム Agus Salim、ハムカ Hamka、アフマッド・ラシディ Ahmad Rasyidi、ムクティ・アリ A. Mukti Ali、ヌルホリス・マジッド Nurcholish Madjid、シャフィ・マアリーフ Syafii Ma'arif、アズユマルディ・アズラ Azyumardi Azra、コドリ・アジジ Qodri Azizi、ムルヤディ・カルタネガラ Mulyadi Kartanegara、アミン・アブドゥッラー Amin Abdullah、コマルッディン・ヒダヤット Qomaruddin Hidayatらである。第5にこうした機関の多くが、国家の重要な人物を多く生み出したということである。ムハマッド・ナシール Muh. Natsir、チョクロ・アミノト Cokro Aminoto、アブドウラフマン・ワヒド（元インドネシア共和国大統領） Abdurrahman

Wahid, マリク・ファジャル A. Malik Fadjar, ハシム・ムザディ Hasyim Muzadi (PB NUの長)、ディン・シャムスッディン Din Syamsuddin (PP ムハマディヤの長)、ヒダヤット・スル・ワヒド Hidayat Nur Wahid (国民評議会 MPR議長) があげられる。

以上のようなことがあるがゆえに、インドネシアのイスラーム教育は多くの人々から熱い視線を注がれるのであろう。この論考は、イスラーム教育についてできる限り簡潔に描き、熱い注目に応えられることを願っている。以下にインドネシアにおけるイスラーム教育機関の分類、イスラーム教育の問題、イスラーム教育改革の努力について記述したい。

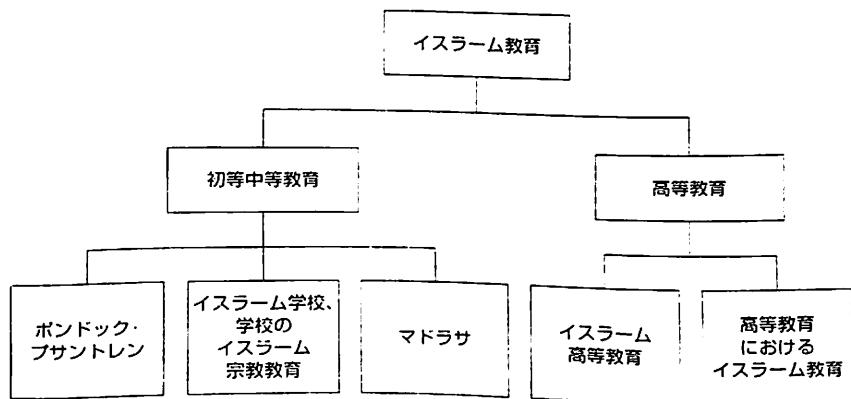
1. インドネシアのイスラーム教育機関の分類

既に知られるように今日のイスラーム教育は、生活のシステムの中にかたどられ、社会の進歩と一体になっている。そのため、インドネシアのイスラーム教育モデルは、その様相のなかに、基底にある共同体の考えがあらわれている。最初は、それは下からてきたものであり、その後、イブティダイヤー（初級）段階からアリヤー（上級）段階まで制度的形態に整備してきた¹¹。

上記の説明に基づくなら、インドネシアのイスラーム教育の分類を行うことは容易ではない。本稿での議論を容易にするために、インドネシアのイスラーム教育組織を二つのカテゴリーに分けることができる。すなわち、初等中等教育と高等教育である。さらに初等中等イスラーム教育を三つのタイプに分けることができる。すなわちプサントレン教育、学校、そしてマドラサである。イスラーム高等教育 PTIは二つの分類に、すなわちイスラーム宗教高等教育機関 PTAIと、国立・私立を問わず一般高等教育機関におけるイスラーム宗教教育 PAIの二つに分けられる。

プサントレンは普通、ポンドック・プサントレンと呼ばれたり、伝統的教育と呼ばれたりする。もちろん近代的なプサントレンも多いが、それはインドネシアで最も古いイスラーム教育組織である。プサントレンは、インドネシアで長い伝統をもち、「土着的な」イスラームの伝統的教育組織として提

図1：インドネシアのイスラーム教育機関



えられる。プサントレンは、一般にナフダトゥール・ウラマ (NU) に所属するキヤイによって設立される³。インドネシアのプサントレンで名前があげられるのは、パチタンのトゥルマス Termas Pacitan、ジョンバンのテブイレン Tebuireng Jombang、ジョンバンのダルル・ウルム Darul Ulum Jombang、クディリのリルボヨ Lirboyo Kediri、チルボンのブンテット Buntet Cirebon、ポノロゴのゴントル Gontor Ponorogo、マグランのテガルレジョ Tegalrejo Magelang、バンドゥンのバブッサラーム Babus Salam Bandung、ジャカルタのダルナジャ Darunnajah Jakartaなどがある。

イスラーム学校は歴史の観点からは、オランダの学校制度より長い発展の歴史があり、最初のものは、1912年に創設されたムハマディヤによって採用されたものである。ムハマディヤはオランダの学校制度をそのまま採用したのではなく、その中にイスラームの宗教学習を含めた。それは「イスムバ Ismuba」(Islam, Muhammadiyah, dan Bahasa Arab, イスラーム、ムハマディヤー、アラビア語) という用語で知られている。現在までにムハマディヤーは5,632校の初等・中等学校を管轄している。さらに、指導者ハムカはムハマディヤ・タイプの学校をもとに、ジャカルタのクバヨラン・バルのアルアズ哈尔・イスラーム学校 Sekolah Islam Al-Azhar をつくった。その後、

3. 近年のイスラーム教育改革

アルアズ哈尔のような学校がいくつもあらわれた。それはアルイズ哈尔 Al-Izhar、アッザフラ Az-Zahrah、マダニア Madania、ドゥイワルナ Dwiwarna、アチラー Athirah (マカッサル)、ムタッハリ Mutahhari (バンドゥン)、スルタン・アゲン Sultan Agung (スマラン)、アルカイラート Al-Khairat、スルルフィクリ Nurul Fikri、アル・ヒクマ Al-Hikmah (スラバヤ)、グローバル・イスラーム学校 Global Islamic School など多数存在する⁶¹。

インドネシアにおいて、イスラーム教育はプサントレンとイスラーム学校で教えられるだけではなく、公立（国立）、私立をとわず一般学校でも小学校SDから高校（一般高校SMA・職業高校SMK）で教えられる。一般学校におけるイスラーム教育はイスラーム宗教教育PAIという教科で教えられ、それは五つの側面、すなわち信仰（クイマナン）、クルアーン・ハディース、イバダー（信仰義務）、イスラーム文化史、倫理（アフラック）からなる。

インドネシアにおけるマドラサは、一般的に近代派の人々によって設置された教育組織である。オランダ・モデルの学校の拡充に対抗したジャミア・ハイル Jami'at Khair とアル・イルシャド Al-Irsyad や、あるいはオランダの学校教育制度を採用したムハマディアのように⁶²近代派の教育組織である。その後の発展の中で、マドラサの制度と組織形態はプサントレンでも次第に多く採用されるようになった。たとえば、ジョンバンのダルル・ウルムとティブイレン、クディリのリルボヨ、チルボンのブンテット、ポノロゴのゴントル、マゲランのパベルアン Pabelan、西スマトラ・パダンパンジャンのディニヤー・フトリ Diniyah Putri、ジャカルタのダルナジャ Darunnajahなどのプサントレンがマドラサ制度を採用した。1923年に、ムハマディヤ連盟もジョグジャカルタにマドラサ・ムアリミン Mualimin (男子教員養成マドラサ) とマドラサ・ムアリマート Mualimat (女子教員養成マドラサ) を設立した。その後、マドラサは急速な量的発展をとげ、2007年にはマドラサ・イブティダイヤー（初級）22,189校、マドラサ・サナウィヤー（中級）12,619校、マドラサ・アリヤー（上級）5,043校を数える⁶³。質的な観点からマドラサはインドネシアにおけるオルターナティブな初等・中等教育機関である。マラン

の統合マドラサ Madrasah Terpadu (MIN, MTsN, MAN)、インサン・チェンデキア国立イスラーム高校 MAN Insan Cendekia、ジョンバンのマドラサ・ダルル・ウルム、スラカルタのアッサラーム、パダンパンジャンのマドラサ・ディニヤ・プトリ、ジョグジャカルタのムハマディヤのムアリミン・ムアリマート他、そうした学校はたくさんある。

インドネシアのイスラーム高等教育設立構想は20世紀初頭以来のインドネシア・イスラーム共同体の闘争の歴史と一つのつながりがある。20世紀初頭から、ジャカルタのジャミア・ハイル (1905)、ソロのサレカット・イスラム Sarekat Islam (1912)、ジャカルタのアルイルシャド (1915)、マジェレンカのプルサトゥアン・ウマット・イスラム Persatuan Umat Islam (1917)、バンドゥンのプルシス Persis (1923)、スラバヤのナフダトゥール・ウラマ Nahdlatul Ulama (1926) 他のイスラーム組織によって行われたようなイスラーム教育制度改革への関心があらわれた。1938年にサティマン・ウイルヨサンジョノ Dr Satiman Wirjosandjoyo は雑誌「プドマン・マシャラカット Pedoman Masyarakat (社会の指針)」15号の4で、ムバリーグ (伝道師) の養成の場としてイスラーム・カレッジ Sekolah Tinggi Islam (STI: イスラーム高等学校) 設立を呼びかけた。この理念は、続いて、1938年の雑誌「AID」第128号で、ジャカルタ、ソロ、スラバヤで三つのSTI設立委員会の間で協議が行われたことが知らされた。M. ナシール Natsir はイスラーム高等教育機関設立の基本としてビジョン、ミッション、そしてワワサン (展望) を統一するために調整の必要があることを感じた⁹。

1945年4月にマシュミ Masyumi は M. ハッタ Moh. Hatta のもとに STI 設立計画委員会を設置するに至った。1945年7月8日に、STI がジャカルタに設立されることが正式に決められた。しかし、オランダ軍とインドネシア民衆の間の戦いがおこり、最終的にオランダがジャカルタを支配し、STI は頓挫した。そして、インドネシア共和国政府はジャカルタからジョグジャカルタに移った。1946年4月10日に STI はジョグジャカルタで再開された。1948年3月10日に STI は4学部で構成されるインドネシア・イスラーム大学

Universitas Islam Indonesia (UII) になった。4学部とは、宗教、法律、経済、教育の4つである。その後、1950年8月14日付け大統領決定1950年第34号を通して、UII（インドネシア・イスラーム大学）の宗教学部は国立に移管され、国立イスラーム宗教カレッジ PTAIN (Perguruan Tinggi Agama Islam Negeri) となり、ジョグジャカルタにキャンパスが置かれた。さらに1960年の大統領決定11号を通して、PTAIN（国立イスラーム宗教カレッジ）とADIA（宗教学公務アカデミー）が拡充され、キャンパスをジョグジャカルタにもつ国立イスラーム宗教大学 IAIN (Institut Agama Islam Negeri) となった¹⁰。後にIAINはジャカルタでも発展し、また他の町々でも発展し、1974年にIAINは14校となった。現在までに国立イスラーム高等教育機関は53校を数えるまでになった。内訳はUIN（国立イスラーム総合大学）6校、IAIN（国立イスラーム宗教大学）が13校、STAIN（国立イスラーム宗教単科大学）が34校になった。

宗教学部が国立化され、PTAINになった後、UIIは引き続き発展をとげ、のちにマカッサルのUMI、バンドンのUNISBA、スマランのUNISULA、マランのUNISMAなどの私立高等教育機関がそれに続いた。ムハマディヤ連盟の管理下にあり、ムハマディヤ高等教育機関とまとめて呼ぶことのできる諸大学も同様である。現在までにインネシアの私立イスラーム高等教育機関は約400校に増えている。

インドネシアにおけるイスラーム宗教教育は国立および私立のイスラーム高等教育機関において発展しただけでなく、国立・私立をとわず一般高等教育機関において講義も行われる。それはカリキュラム内でも、またカリキュラム外（課外）でも行われている。一般高等教育機関における課外（カリキュラム外）のイスラーム宗教活動は、ジョグジャカルタのUGM（ガジャマダ大学）のジャマア・サラフッディン Jamaah Salahuddin、ジャカルタのUI（インドネシア大学）のマスジド・ジャミック Masjid Jamik、バンドンのITB（バンドン工科大学）のマスジド・サルマン Masjid Salmanが注目される¹¹。

インドネシアのイスラーム教育機関の分類を簡単に示すと、下の図のよう

になる。

2. インドネシアにおけるイスラーム教育の問題

先述のように、インドネシアでイスラームが発展し始めて以来、イスラーム教育が行われてきた。イスラーム教育は実に多様な発展をとげ、ダイナミズムに満ちている。そのため、インドネシアのイスラーム教育の問題もまた非常に多様であり複雑である。

インドネシアの初等中等イスラーム教育の三つの種別それが、独自の問題を抱えている。よく知られるように、一般にプサントレンはタフシール（クルアーン注釈）、ハディース、フィクフ（イスラーム法学）、タウヒード（神学）・クaimanan（信仰）、アフラック（倫理）、タサウフ（神秘主義）、アラビア語のような伝統的な（宗教の）諸学間に焦点をあてる。その後の発展においてプサントレンは、宗教諸学のみしか発展させないという点で、制約を感じられる。それゆえ、プサントレンの運営者は、宗教諸学の他に数学、理科、衛生、社会科、英語のような近代的な（一般的な）学問を発展させなければならないという認識をもちはじめた。しかし、上記のような近代的な学問を発展させるためには、彼らはまだ経験がないので、いくつかの問題に直面している。

逆にイスラーム学校は、一般的な学問の発展で比較的長い経験をもつ。イスラーム学校の運営者はオランダの学校制度を採用した。それゆえイスラーム学校は一般的な学問において比較的強い。イスラーム学校の運営者は、一般的な学問のほかに、宗教的な学問を発展させる必要を感じている。彼らは、イスラーム学校における宗教的な学問の発展に関する問題に直面している。

マドラサは、プサントレンのように宗教諸学において優れ、またイスラーム学校のように一般諸学が優れたイスラーム教育組織を発展させるために設立された。期待されるようなマドラサを発展させるのは容易ではなかった。設立されたマドラサは、上記のような目的を完全に達成するにはいたっていない。それどころか、マドラサの多くは、上記の2種の学問の問題にまだ直

3. 近年のイスラーム教育改革

面している。もちろん、いくつかの例外的なマドラサは存在するが、宗教の学問の点では、マドラサの卒業生はプサントレンの卒業生に負け、一般的な学問の点ではイスラーム学校の卒業生に負ける。

その他に、プサントレンは、排他的、ラディカル（過激）、ファンダメンタル（原理主義的）といったイメージやテロとの結びつきといった否定的なステイグマの問題からまだ完全に自由になっていない。イスラーム学校のイスラーム宗教教育も一般学校のイスラーム宗教教育PAIに対しても多くの批判がある。あまりに規範的すぎるとか、教義主義的だとか、認知的側面ばかり重視されるだとか、まだムスリムの個性・人格を形成できないといった多くの批判がある。マドラサはより深刻な問題に直面している。教育機関としての競争力を欠いている。卒業生の質が問われており、40%の教師がミスマッチであり、教師が学問の専門にふさわしくない科目を教えている。たとえばイスラーム宗教教育の卒業生が英語を教えるとか、シャリアーの卒業生が数学を教えるといったことがある。また、教育の施設・設備が不十分であるとか、運営の方法が専門性に欠けるとか、その他の問題が山積している。

一般にプサントレンの経営者は、卒業生が来世で幸せを得ることができるなら、自動的に現世でも幸せが得られるという信仰を持つ。しかし、明らかなのは、現実は違っていて、プサントレンの卒業生の一部が、現世の生活によく対応するための技能をまだ十分に持っていないということである。従って、プサントレンが現世のみならず来世でも幸せを得るのに役だつ伝統的な学問と同時に近代的な学問を発展させる必要が、ますます感じられるようになった。

マドラサが直面する問題は、非常に複雑な要因によってもたらされている。経営の点からは、宗教省が管理するマドラサは中央集権であるが、他方、学校はすでに地方分権化されている。結果的に、多くの地方政府はマドラサを持っていると感じていない。そのため、多くのマドラサは政府財源（州および県・市）から予算を得ることができない。マドラサはまた、教育人材の開発研修を行う機会が得られないし、地方政府からその他の施設補助を得る機

会もない。

インドネシアのイスラーム高等教育PTIは、ザムロニ Zamroniによれば数は比較的多く453校以上あるが、インドネシアの高等教育地図において、その多くはまだ周辺的な位置にとどまっている¹²⁾。イスラーム高等教育の方向づけは、国家の高等教育のサブシステムとして、「知識移転 transfer of knowledge」の影響を受け、労働の問題および学位授与と密接に結びついており、人間の能力を完全に発展させるという方向には向いていない¹³⁾。

グローバル時代に入り、イスラーム高等教育機関PTIは卒業生の質と結びついた深刻な問題に直面している。この要請に答えるために、PTIはビジョン、ミッション、それが基づいているパラダイムを検討しなおす必要がある。伝統的な諸学（宗教）と近代的な学問（一般）の間で二分される学問構造は、ホリスティックな、あるいは少なくとも補完的な新しい構造に変わらなければならぬ¹⁴⁾。

イスラーム高等教育は、イスラームの思想的危機の複雑な糸をほぐすために非常に戦略的な意味をもち、イスラーム共同体の文明の停滞と後退に対してインパクトを与えるものである。発展に方向づけられるイスラーム共同体の改革は、教育からはじまらなければならない¹⁵⁾。PTIは国家の諸問題にかかわってイスラーム共同体の学問伝統を発展させるために、きわめて戦略的な役割をもつ¹⁶⁾。

イスラーム高等教育機関PTIはいくつかの障礙と問題に直面している。中でも、第一は6校の国立イスラーム宗教大学IAIN／国立イスラーム宗教単科大学STAINが国立イスラーム総合大学UINになったあと、宗教諸学を発展させるだけでなく、一般的な学問（社会、自然、人文）も発展させなければならないということである。その変化にともなって、宗教学と一般学を統合するための努力が現実化することが期待される。第二に、自治権の拡大にともなって、PTIはより最大限に自らを発展させることが期待される。第三に、組織と学術的な点から、卒業生がより専門的で高度な技能を身につけるように説明責任を高めることである。第四に、他の高等教育機関との協力を

強化することである。それは、イスラーム高等教育機関における教育の質の向上を加速化させるシネルギーを生み出すのに役立つ¹⁷⁾。

今日、もっとも基底にあるイスラーム教育の問題は、イデオロギーの問題である¹⁸⁾。イスラーム共同体は知識の重要性をイデオロギーの方向づけに効果的に結びつけられていない。その結果として、学習を十分に動機づけられない。それどころか、学問を求めるに対するイスラームの義務的道徳命令があることを認識しない¹⁹⁾。その次の問題は、上記の二分法があることの結果としてイスラーム共同体の教育システムに二元的な構造が存在するということである。一つの側に、マドラサ・イブティダイヤーからイスラーム高等教育機関PTIに至る伝統的な（宗教）教育制度がある。もう一つの側に、小学校SDから一般高等教育機関PTUに至る近代的世俗的（一般）教育制度があり、それはイスラームのイデオロギーと諸価値にふれることがない。明白なのは、この二つの教育制度を同時に完備することができないということである²⁰⁾。

イスラームの考えでは、学問は既に本質的にクルアーンの中に含まれる。宗教を信仰することは学問を身につけることであり、学問を身につけることは宗教を信仰することである。それゆえ宗教と学問の間の二分法は存在しない。学問は価値から自由ではなく、価値づけられ、あるいは批判されることも自由である。一つの意見が誤っているのか、あるいは正しいのか振り返って評価・判断することが肝要である²¹⁾。教育の目的は、クルアーンによると、人間を創造的な個人に発展させることであり、それは人間の共同体をよりよくするために自然資源を活用することを可能にする。そして世界の正義、成長、秩序を生み出すことである²²⁾。

イスラーム高等教育における学問のパラダイムは、いくつかの認識を持つ。すなわち、第一に学問は本質的にイスラームの教えに含まれる。一つの学問が生まれ発展することは常に、イスラームの教えの諸価値に源を持つ。第二に、イスラームは学問と宗教との二分法を知らない。その二つは切り離せないが、それぞれの位置と役割において差異化される。学問（イルム）の正し

さは経験的で、相対的な性格を持つ。第三に学問は人間によって作られた。それが生み出されて以来、学問の発展と活用は、創造主に対して奉仕するという意図を持って進められてきた²³⁾。

人間の共同体の文明はそれぞれ常に学術（学問）に基礎を置いている。イスラーム文明にしても同様で、繁栄している時も衰退する時も、その文明が基礎を置く学術（学問）と切り離すことはできない。イスラーム文明が栄えた時には、一般的な学問と宗教的な学問との対立があることはまだ知られていなかった。このことは、宗教を専門とするムスリムの思想家が、また医学、化学、社会学、天文学などの専門家であったという事実によって支持される。しかし、現代の世紀において、学術は（伝統的な）宗教の学問と（世俗的な）現代的な学問とが対立する傾向がある。その結果は、ムスリムの学問のある人が同時に医学、化学、経済、その他の分野の専門家であるということがなくなった。

3. インドネシアにおけるイスラーム教育改革の努力

ムクティ・アリ A. Mukti Aliによれば、ポンドック・プサントレンの改革は、教育と教授の制度に焦点があてられ、次のような論点がある。(1) ポンドック・プサントレンにマドラサが置かれる。(2) ポンドック・プサントレンの位置が適切であるかそうでないか。それは国家開発を支援するのにどれだけの距離を取るかにかかわる。(3) ポンドック・プサントレンは一般に都市の外あるいは村に置かれ、サントリ（生徒）の多くは農民あるいは漁師の子供である。(4) ポンドック・プサントレンは国民の興隆に、そしてインドネシア共和国の防衛に大きな貢献をした。(5) インドネシアの社会と人々にイスラームの教えを植えつけ広める点で、最高の教育の場である²⁴⁾。

改革のターゲットは、まず第一に、起こされる精神性を起こす（開発する）精神性に置き換えることである。それは次のような特徴をもつ。(a) オープンな姿勢で、批判的で、探求を好む、(b) 前向き（将来を見据える）、(c) 仕事に注意深い、(d) 何かをつくるために新しい方法を使ったり、今まで

使われていなかった社会の他の構成員を活用するためのイニシアティブをもつ、(e) より我慢強く仕事に耐える、(f) 他の組織と進んで協働することができる。第二に、ポンドック・プサントレンのカリキュラム改革、第3に労働技能と関連のある教授と教育である。ポンドック・プサントレンの改革は、短期的には、下級・中級レベルの労働力の需要にこたえ、長期的には開発に積極的に関与し、物質的にも精神的にも公正で繁栄する社会をつくる方向に向けられなければならない²⁵⁾。

ポンドック・プサントレンにおける改革は、段階的に「学習義務マドラサ Madrasah Wajib Belajar」²⁶⁾のカリキュラムを採用する方法で行われる。宗教省は「学習義務マドラサ」型のパイロット・プロジェクトの計画・調整委員会を設置する。その委員会の職務は(1) 試行的なプロジェクト形成理念の基本を公式化する、(2) この試行的プロジェクトの実施に対する調整と監督を行うことである。その他に、宗教省は、教師の「現職教育」・「養成教育」活動を行う委員会を設置する。そして、カリキュラムを社会における生活と労働市場に方向づける²⁷⁾。ポンドック・プサントレンにおける教育と教授の改革の実施者としては、(1) 直接的な実施者としてのキヤイとウスタズ(教師)、(2) 補助的な実施者としての監督者、(3) 社会の中で既に発展を遂げた専門家がいる²⁸⁾。

ポンドック・プサントレンにおける教授・教育制度の改革努力は、(1) カリキュラムを社会のニーズに応えるように方向づける、(2) 学習義務マドラサ・タイプのカリキュラムが改革の柱として用いられるのが望ましい、(3) 教師の質が高められ、教育の施設・設備が革新されるのが望ましい、(4) この改革努力は、段階的に、そして現在発展している社会の真のニーズについての正しい研究成果に基づいて行われるのが望ましい、(5) この改革努力の成果ができるまでには長い時間がかかる。そのため教育以外の開発セクターに責任をもつ関係者は、ポンドック・プサントレンが開発・改革に取り組むのに重要ではないといった結論を急に引き出さないように正しい理解をもつことが望ましい。(6) 現実に、ポンドック・プサントレンにおける教授・教

育システムの発展・改革は非常に急がれるものである。そのため、宗教省とイスラーム指導者は、特にキヤイは、ポンドック・プサントレンの改革・発展に対して、より真剣に関心を向け、積極的な姿勢を持たなければならぬい²⁹⁾。

60年代以来何十年にもわたって、インドネシアは常にABRI（国軍）が支配してきた。ABRIは非常に整った良い幹部養成の仕組みをもっている。それは教育に始まり、タルナ・スサンタラとAkabri（国軍アカデミー）がある。政府の高官は中央から地方までほとんどすべて、ABRIあるいはABRIの退職者で占められている。他方、マドラサの卒業生はタルナ・スサンタラとAkabriへの入学要件を満たさない。従って、マドラサ教育の経験をもつ政府高官を見つけることは非常に稀である。

そのため、マドラサ改革の努力はその地位の改善に焦点化される。この努力の最初のものは、1975年の3月24日に署名された、マドラサにおける教育の質の向上のための宗教大臣、教育文化大臣、内務大臣の共同決定である。この3大臣の共同決定は、その後、SKB 3 Menteriの呼び名で知られている。マドラサにおける教育の向上の目的・目標は、マドラサの一般教科の質のレベルを、同じ段階の一般学校における一般教科の質と同じレベルまで引き上げることである。すなわち (1) マドラサの卒業証書（イジャザ）が同じ段階の一般学校の卒業証書と同じ価値をもつ、(2) マドラサの卒業生がより上の段階の一般学校に進学できる、(3) マドラサの生徒が同じ段階の一般学校に移ることができるということである³⁰⁾。

上記の目標を達成するには、(1) マドラサにおける教育の質の向上が、カリキュラム、教科書、その他の教材、そして、一般的な教育設備の各分野を含み、そして教授については (2) マドラサにおける一般教育の質の向上目標を達成するために、マドラサは、次のような各段階において毎年与えられる一般教育に即したものにしなければならない。a) マドラサ・イブティダイヤーにおける一般学習を、小学校SDにおける知識の水準と同じにする、b) マドラサ・サナウィヤーにおける一般学習を中学校SMPにおける知識水準

と同じにする、c) マドラサ・アリヤーにおける一般学習を高校SMAにおける知識水準と同じにする。(3) 上の(2)の(a)に記したことを実施するために、マドラサ・イブティダイヤーの学習期間を現在の6年から7年に延長するか、毎日の学習時間を追加する³¹⁾。

マドラサの改革は次に、JSEP (*Junior Secondary Education Project* 前期中等教育プロジェクト) をとおして1993年に行われたモデル・マドラサに方向づけられる。その後、1998年にマドラサ・イブティダイヤー MI とマドラサ・サナウィヤー MTs のためのBEP (*Basic Education Project* 基礎教育プロジェクト)、およびマドラサ・アリヤー MA のためのDMAP (*Development Madrasah Aliyah Project* マドラサ・アリヤー開発プロジェクト) に引き継がれる。最終的に、マドラサ改革はMEDP (*Madrasah Education Development Project* マドラサ教育開発プロジェクト) を通して、AIBEP (*Australia Indonesia Basic Education Project* オーストラリア・インドネシア基礎教育プロジェクト) によって実施された。

ここ数年のマドラサ改革は、国家教育制度 Sisdiknas に関するインドネシア共和国法2003年第20号および教育の国家水準 SNP に関する政府規程2005年第19号においてマドラサを適合させることに焦点があてられている。SNP によると、インドネシアの基礎教育と中等教育は8つの基準、すなわち内容、過程 (プロセス)、卒業生の能力、教師および教育人材、施設・設備、運営、財政、教育評価の8つの基準を満たすことが求められる。

最近の、インドネシアにおけるマドラサ改革は国際水準マドラサ MBI (*Madrasah Bertaraf International*) に方向づけられる。MBIをめざすマドラサ改革の取り組みは、二つの方法を通して行われる。すなわち、一つは基準を満たすマドラサを格上げして、MBIにするための準備をすることである。たとえばインサン・チェンデキア国立マドラサ・アリヤー MAN Insan Cendekia、マラン統合マドラサ Madrasah Terpadu Malang、およびその他のマドラサがこの例である。第二に、新しいマドラサを設置する方法がある。2009財政年度において、インドネシアの12の州に12のMBIが現在建設中で

ある。続いて、2010財政年度には、その他の州にもMBIが建設される予定である。

イスラーム教育改革はインドネシアのイスラーム高等教育機関においても実施される。ジョグジャカルタとジャカルタのIAIN（国立イスラーム宗教大学）は1960年代から、多くのイスラーム学士を輩出してきており、IAINはその後、他の都市にも設置され14校を数えるまでになった。その後、IAINから遠く離れた所にある学部が1996年／1997年に、独立してSTAIN（国立イスラーム宗教単科大学）になり、その数は33校に達した。その後の組織改革は、ジャカルタのIAINがUIN（国立イスラーム総合大学）になり、その後、それに続いて、ジョグジャカルタのIAINとマランのSTAIN（国立イスラーム宗教単科大学）が同時にUINになった。さらに、マカッサル、バンドン、ブカンバルのIAINもUINになった。2009年までに、インドネシアの国立イスラーム宗教高等教育機関の数は53校となり、その内訳は6校のUIN、13校のIAIN、34校のSTAINである。

イスラーム宗教高等教育の改革は1980年代以降に、そのエーストスを見いだし始め、ジャカルタとジョグジャカルタのIAINは学士後学習SPS (Studi Purna Sarjana) を提供はじめ、それは発展して、マギステル（修士）S2のための大学院プログラムとなり、さらにドクトル（博士）S3プログラムが提供されるようになった。2000年代になると、S2（修士）とS3（博士）のプログラムが、マカッサル、アチエ、バンドゥン、スマラン、パダン、スラバヤなどのいくつかのIAINで開設された。

その後の改革は、インドネシアの多くのイスラーム高等教育機関がエジプトのアル・アズハル大学と協力関係を結び、教授の訪問、多くのインドネシアの学生がアズハルで学習を継続した³²⁾。つづいて、多くのイスラーム高等教育機関が、国内外のいくつかの高等教育機関と交流協定を結んだ。宗教省を通して、UIN／IAINはカナダのマッギル McGill 大学、オランダのライデン Leiden 大学、アメリカのシカゴ Chicago 大学、フランスのソルボンヌ Sorbonne 大学と協力を結んでいる。

おわりに

最後に、グローバル化、改革、開放の時代とともに、インドネシアのイスラーム教育は条件さえ整えば、量的にも質的にもますます発展するであろう。インドネシア政府は、改革の実施に役立つ、イスラーム教育組織が必要とするものを提供すること、そしてインドネシアの各イスラーム教育組織がそのエースと特性に即して発展するのに役立つ雰囲気を作ることが期待される。そうすれば、インドネシアのイスラーム教育機関は、卒業生の質を高めることができ、ひとつには、人々の諸問題を解決するような発見をもたらす世界的な学者を生み出すことが可能になるかもしれない。

注

- 1) A Malik Fadjar "Jangan Ada Penyeragaman", *Gatra*, 30 September 2009. p. 154.
- 2) 同上。フォーマルな組織の観点からも社会的活動の観点からも、イスラーム教育の年齢はイスラームの歴史と自体と同じである。
- 3) Azyumardi Azra "Revitalisasi Pendidikan agama", *Gatra*, 30 September 2009. p. 130.
- 4) A Malik Fadjar "Jangan Ada Penyeragaman", *Gatra*, 30 September 2009. pp. 154.
- 5) Azyumardi Azra "Revitalisasi Pendidikan agama", *Gatra*, 30 September 2009. pp. 130
- 6) 同上
- 7) 同上
- 8) インドネシア共和国宗教省イスラーム教育総局 Direktorat Jenderal Pendidikan Islam Depag RI によって出された「宗教教育・宗教専門教育統計2006-2007年度」Statistik Pendidikan Agama dan Keagamaan Tahun Pelajaran 2006-2007. 23頁を見よ。
- 9) Transformasi IAIN Sunan Kalijaga Menjadi UIN Sunan Kalijaga. Juni 2006. pp. 5-7.
- 10) Ibid., hal 9-17.
- 11) *Gatra*, terbitan 30 September 2009 pp. 112-115. pp. 118-126. 参照
- 12) Zamroni, "Sosok Ideal Pendidikan Tinggi Islam" in Muslih Usa dan Aden Wijdan SZ (eds.) *Pendidikan Islam dalam Peradaban Industrial*, Aditya Media, Yogyakarta.

1997. pp.28-31. 参照
- 13) 2002年2月25日にLP3 dan FAI UMYによって開催された教育思想と教育方法に関するセミナーで報告されたDjoharの論文 "Pendidikan Alternatif : Mencari Terobosan Baru dalam Kemandegan Pendidikan di Indonesia"
- 14) H.A.R. Tilaar. *Beberapa Agenda Reformasi Pendidikan Nasional dalam Perspektif Abad 21*. Tera Indonesia. Magelang. 1998. pp.207-208を見よ。
- 15) Fazlur Rahman. *Islam*, pp. 259-260.
- 16) より詳細は Mastuhu. *Memberdayakan Sistem Pendidikan Islam*, p. xを見よ。.
- 17) Satryo Soemantri Brojonegoro(etc.), "Implementasi Paradigma Baru di Perguruan Tinggi" in Fasli Jalal dan Dedi Supriadi(eds.) *Reformasi Pendidikan dalam Konteks Otonomi Daerah*. Bappenas-Depdiknas-Adicita Karya Nusa. Yogyakarta. 2001. pp.368-369.
- 18) ここで意図するのは学問の重要性に関するイスラームのイデオロギーであり、イスラームは全ての人が個々の能力にしたがって学問を学び発展させるよう義務づけるということである。
- 19) Fazlur Rahman "The Qur'anic Solution of Pakistan's Education Problems". pp.315-326を見よ。
- 20) 同上
- 21) Mastuhu. *Memberdayakan Sistem Pendidikan Islam*, p. 9.
- 22) Fazlur Rahman "The Qur'anic Solution of Pakistan's Education Problems". pp.315-326を見よ。
- 23) Mastuhu. *Memberdayakan Sistem Pendidikan Islam*, pp. 219-220.
- 24) A. Mukti Ali. *Beberapa Masalah Pendidikan di Indonesia*. Yayasan Nida. Yogyakarta. 1971. p. 18.
- 25) 同上、 pp.19 -20.
- 26) 学習義務マドラサのカリキュラムは、6-14歳の子供を対象にアリフィン・テムヤン H.A.M.Arifin Temyang によって編成された。このカリキュラムは、経済成長、産業化、技能、奉仕、創造力に重点をおく。第1学年には50平方メートルの花壇を用意し、そこに花を植えて育て、それを手仕事の時間の教材とする。第2学年には100平方メートルの菜園を備え、生徒自身が野菜を植えて育てる。第3学年は、300平方メートルの土地に、20羽の鶏用のケージ3つと5頭の羊用のケージ一つを作る。これは生徒が世話ををする。第4学年は、100平方メートルの池をつくり、何種類かの魚を飼い、生徒が世話ををする。第5学年は木工、藁・竹・藤の編み物の工芸を提供する。第6学年は、生徒自身が世話ををする。第7学年は木工、藁・竹・藤の編み物の工芸を提供する。第8学年は、水田と手仕事のために土地と道具を用意する。第9学年と第10学年は、生徒が世話ををする。

3. 近年のイスラーム教育

- 徒は1カ月に1週間、村の事業所に預けられる。水田耕作、ケチャップ、豆腐、テンペの工場、レンガ、瓦、セメント工場、鉄工、農園などの事業所に預けられる。
- 27) A. Mukti Ali, *Bebberapa Masalah Pendidikan di Indonesia*, pp. 21-22.
 - 28) 同上, p. 23.
 - 29) 同上, p. 26.
 - 30) 詳細は “Keputusan Bersama Menteri Agama, Menteri Pendidikan dan Kebudayaan serta Menteri Dalam Negeri, No. 6/ 1975 : 037/U/1975 : 36/ 1975 Tentang Peningkatan Mutu Pendidikan Pada Madrasah”, BAB II, Pasal 2.を見よ。
 - 31) 同上, BAB III, Pasal 3.
 - 32) Fazlur Rahman, *Islam and Modernity : Transformation of an Intellectual Tradition*, pp. 126-127.

3. 2 Pembaharuan Pendidikan Islam di Indonesia

Sutrisno

Pendahuluan

Akhir-akhir ini pendidikan Islam di Indonesia semakin menarik dan semakin luas dibicarakan. Hal ini mungkin karena terkait dengan peristiwa-peristiwa terorisme yang dicitrakan berbasis pada lembaga-lembaga pendidikan bercirikan keislaman. Akan tetapi, terdapat berbagai argumen mengapa pendidikan Islam menarik untuk didiskusikan. *Pertama*, bahwa pendidikan Islam menyatu dengan masyarakat. Islam dan umat Islam tidak akan ada tanpa pendidikannya.¹ Sedangkan Islam merupakan agama yang dianut oleh mayoritas penduduk Indonesia. *Kedua*, pendidikan Islam di Indonesia telah melewati perjalanan panjang.² *Ketiga*, Indonesia bukan hanya negara muslim terbesar, melainkan juga memiliki paling banyak lembaga pendidikan Islam.³ *Keempat*, banyak ilmuan Indonesia pernah belajar di lembaga pendidikan Islam, seperti Idham Khalid, Agus Salim, Hamka, Ahmad Rasyidi, A. Mukti Ali, Nurcholish Madjid, Syafii Ma'arif, Azyumardi Azra, Qodri Azizi, Mulyadi Kartanegara, Amin Abdullah, dan Qomaruddin Hidayat. *Kelima*, lembaga ini telah banyak melahirkan tokoh nasional, seperti Muh. Natsir, Cokro Aminoto, Abdurrahman Wahid (mantan presiden RI), A Malik Fadjar, Hasyim Muzadi (ketua PB NU), Din Syamsuddin (ketua PP Muhammadiyah), Hidayat Nur Wahid (ketua MPR).

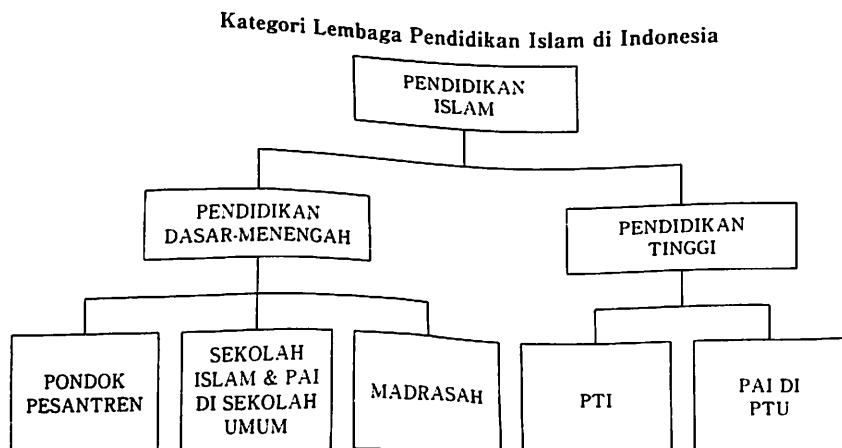
Karena hal-hal tersebut maka wajar jika pendidikan Islam di Indonesia menimbulkan penasaran bagi banyak pihak. Tulisan ini dimaksudkan sekedar memberikan gambaran singkat, dengan harapan dapat memenuhi penasaran tersebut. Tulisan ini mencakup pembahasan kategorisasi

lembaga pendidikan Islam, problem pendidikan Islam, dan upaya pembaharuan pendidikan Islam di Indonesia.

1. Kategorisasi Lembaga Pendidikan Islam di Indonesia

Sebagaimana diketahui bahwa pendidikan Islam selama ini telah menjelma dalam pranata kehidupan dan menyatu dalam kiprah masyarakat. Karena itu, model pendidikan Islam di Indonesia berwarna-warni yang menggambarkan aliran komunitas basisnya. Awalnya ia tumbuh dari bawah yang kemudian menginstitusi dalam bentuk lembaga mulai tingkat ibtidaiyah hingga aliyah.⁴

Berdasarkan paparan di atas, maka tidak mudah membuat kategorisasi lembaga pendidikan Islam di Indonesia. Sekedar untuk memudahkan pembahasan dalam tulisan ini, lembaga pendidikan Islam di Indonesia dapat dibedakan ke dalam dua kategori, yaitu pendidikan dasar-menengah, dan pendidikan tinggi. Kemudian, pendidikan Islam dasar-menengah dapat dibedakan ke dalam tiga jenis, yaitu pendidikan pesantren, sekolah, dan madrasah. Pendidikan Tinggi Islam (PTI) dibedakan ke dalam dua kategori yaitu Perguruan Tinggi Agama Islam (PTAI) dan PAI di Perguruan



Tinggi Umum (PTU) baik negeri maupun swasta.

Pesantren yang biasa disebut dengan pondok pesantren atau pendidikan tradisional, sekalipun sudah banyak pesantren modern, merupakan lembaga pendidikan Islam tertua di Indonesia. Pesantren dipandang sebagai lembaga pendidikan tradisional Islam *indigenos* karena tradisinya yang panjang di Indonesia. Pesantren pada umumnya didirikan oleh Kiai yang berafiliasi pada Nahdlatul Ulama (NU).⁵ Sekedar menyebut pesantren-pesantren di Indonesia adalah Termas Pacitan, Tebuireng Jombang, Darul Ulum Jombang, Lirboyo Kediri, Buntet Cirebon, Gontor Ponorogo, Tegal Rejo Magelang, Al-Anwar di Rembang Jawa Tengah, Diniyah Putri Padang Panjang Sumatra Barat, Babus Salam Bandung, dan Darunnajah Jakarta.

Sekolah Islam, dari perspektif sejarah, merupakan perkembangan lebih lanjut dari sistem sekolah Belanda yang pertama kali diadopsi Muhammadiyah sejak organisasi ini berdiri pada tahun 1912. Muhammadiyah tidak sekedar mengambil alih sistem sekolah Belanda, melainkan juga memasukkan pelajaran agama Islam, yang sekarang dikenal dengan istilah 'Ismuba' (Islam, Muhammadiyah, dan Bahasa Arab). Sampai sekarang Muhammadiyah menaungi lebih dari 5.632 sekolah dasar dan menengah. Selanjutnya, adalah Buya Hamka yang mentransformasi sekolah model Muhammadiyah menjadi sekolah Islam Al-Azhar di Kebayoran Baru Jakarta. Kemudian, muncul sekolah-sekolah Islam seperti Al-Izhar, Az-Zahrah, Madania, Dwiwarna, Athirah (Makassar), Mutahhari (Bandung), Sultan Agung (Semarang), Al-Khairat, Nurul Fikri, Al-Hikmah (Surabaya), Global Islamic School, dan banyak lagi.⁶

Di Indonesia pendidikan Islam tidak hanya diajarkan di pesantren dan sekolah Islam, tetapi juga di sekolah umum baik negeri maupun swasta mulai dasar (SD) sampai menengah atas (SMA/SMK). Pendidikan Islam di

sekolah umum dikemas dalam matapelajaran Pendidikan Agama Islam (PAI) yang terdiri dari lima aspek yaitu Keimanan, Qur'an-Hadis, Ibadah, Sejarah Kebudayaan Islam, dan Akhlak.

Madrasah di Indonesia semula merupakan lembaga pendidikan yang umumnya didirikan kalangan modernis, seperti Jam'i'at Khair dan Al-Irsyad untuk merespon ekspansi sekolah-sekolah model Belanda dan sekolah-sekolah Muhammadiyah yang mengadopsi sistem persekolahan Belanda.⁷ Dalam perkembangan selanjutnya sistem dan kelembagaan madrasah semakin banyak diadopsi di pesantren, seperti di Pesantren Darul Ulum dan Tebuireng Jombang, Lirboyo Kediri, Buntet Cirebon, Gontor Ponorogo, Pabelan Magelang, Diniyah Putri Padang Panjang Sumatra Barat, dan Darunnajah Jakarta. Persyarikatan Muhammadiyah pada tahun 1923 juga mendirikan Madrasah Mualimin dan Mualimat di Yogyakarta. Selanjutnya, Madrasah dari segi kuantitas berkembang sangat cepat sampai tahun 2007 mencapai jumlah 22.189 untuk MI, 12.619 untuk MTs, dan 5.043 untuk MA.⁸ Dari segi kualitas madrasah menjelma menjadi lembaga pendidikan dasar dan menengah alternatif di Indonesia, seperti Madrasah Terpadu (MIN, MTsN, dan MAN) di Malang, MAN Insan Cendekia, Madrasah Darul Ulum di Jombang, Assalam di Surakarta, Madrasah Diniyah Putri Padangpanjang, Mualimin dan Mualimat Muhammadiyah di Yogyakarta, serta banyak lagi.

Gagasan pendirian pendidikan tinggi Islam di Indonesia merupakan salah satu mata rantai sejarah perjuangan umat Islam Indonesia sejak awal abad 20. Sejak itu muncul kesadaran pada pembaharuan sistem pendidikan Islam yang dilakukan oleh organisasi-organisasi Islam, seperti Jam'i'at al-Khayr (1905) di Jakarta, Sarekat Islam (1912) di Solo, Muhammadiyah (1912) di Yogyakarta, Al-Irsyad (1915) di Jakarta, Persatuan Umat Islam (1917) di Majalengka, Persis (1923) di Bandung, dan

Nahdlatul Ulama (1926) di Surabaya. Pada tahun 1938 Dr Satiman Wiryo Sandjoyo melalui majalah *Pedoman Masyarakat* No 15 th IV mencetuskan ide pendirian Sekolah Tinggi Islam (STI) sebagai tempat mendidik muballigh. Gagasan ini disusul dengan pemberitaan majalah AID No 128 th 1938 yang memberitakan bahwa telah diadakan permusyawaratan antara tiga Badan Pendiri STI di Jakarta, Solo, dan Surabaya. M. Natsir menanggapi tentang perlunya koordinasi untuk menyatukan visi, misi, dan wawasan sebagai dasar pendirian perguruan tinggi Islam.⁹

Pada bulan April tahun 1945 Masyumi berhasil membentuk Panitia Perencana pendirian STI di bawah pimpinan Moh. Hatta. Pada tanggal 8 Juli 1945, STI berhasil diresmikan pendiriannya di Jakarta. Namun, STI terhenti karena terjadi perang antara pasukan sekutu Belanda dengan rakyat Indonesia yang akhirnya Belanda berhasil menguasai Jakarta. Kemudian Pemerintah Negara RI pindah dari Jakarta ke Yogyakarta. Pada tanggal 10 April 1946, STI dibuka kembali di Yogyakarta. Pada tanggal 10 Maret 1948 STI berubah menjadi Universitas Islam Indonesia (UII) dengan empat Fakultas, yaitu Fakultas Agama, Hukum, Ekonomi, dan Pendidikan. Kemudian melalui Perpres No 34 tahun 1950 tertanggal 14 Agustus 1950, Fakultas Agama UII dinegerikan menjadi Perguruan Tinggi Agama Islam Negeri (PTAIN) yang berkedudukan di Yogyakarta. Selanjutnya, melalui Perpres No 11 tahun 1960, PTAIN dan ADIA (Akademi Dinas Ilmu Agama) dilebur menjadi Institut Agama Islam Negeri (IAIN) yang berkedudukan di Yogyakarta.¹⁰ Kemudian IAIN berkembang di Jakarta dan berkembang terus di kota-kota lain sampai tahun 1974 menjadi 14 IAIN. Sampai sekarang PTAIN berkembang menjadi 53, dengan perincian 6 UIN, 13 IAIN dan 34 STAIN.

Setelah Fakultas Agamanya dinegerikan menjadi PTAIN, UII tetap

terus dapat berkembang, yang kemudian disusul oleh PTAIS-PTAIS lain seperti UMI di Makasar, Unisba di Bandung, Unisula di Semarang, Unisma di Malang, dan Universitas-Universitas di bawah pengelolaan Persyarikatan Muhammadiyah yang tergabung pada Perguruan Tinggi Muhammadiyah (PTM). Sampai sekarang jumlah PTAIS di Indonesia tidak kurang dari 400.

Pendidikan Agama Islam (PAI) di Indonesia, selain dikembangkan di PTAIN dan PTAIS juga dikuliahkan di Perguruan Tinggi Umum (PTU) baik Negeri maupun Swasta yang dikemas dalam intra kurikuler maupun ekstra kurikuler. Untuk kegiatan keislaman ekstra kurikuler di PTU yang paling menonjol adalah di Jamaah Salahuddin UGM Yogyakarta, Masjid Jamik UI Jakarta dan Depok, serta Masjid Salman ITB Bandung.¹¹

Secara sederhana kategorisasi lembaga pendidikan Islam di Indonesia dapat diskemakan sebagai berikut

2. Problem Pendidikan Islam di Indonesia

Sebagaimana disebutkan di atas bahwa Pendidikan Islam sudah berjalan sejak mulai berkembangnya Islam di Indonesia. Pendidikan Islam berkembang sangat bervariasi dan penuh dengan dinamika. Karena itu, problem pendidikan Islam di Indonesia juga sangat bervariasi dan komplek.

Masing-masing dari ketiga jenis pendidikan Islam dasar-menengah di Indonesia memiliki problem sendiri-sendiri. Sebagaimana diketahui bahwa pada umumnya pesantren fokus pada ilmu-ilmu tradisional (agama) seperti tafsir, hadits, fiqh, tauhid/keimanan, akhlak, tasawuf, dan bahasa Arab. Pada perkembangan selanjutnya pesantren merasakan keterbatasannya, karena hanya mengembangkan ilmu-ilmu agama saja. Karena itu, para pengelola pesantren mulai ada kesadaran untuk mengembangkan ilmu-

ilmu modern (umum) seperti matematika, ilmu pengetahuan alam, kesehatan, ilmu-ilmu sosial, dan bahasa Inggris, disamping ilmu-ilmu agama. Tetapi untuk mengembangkan ilmu-ilmu modern tersebut, mereka masih menghadapi berbagai problem, karena belum memiliki pengalaman.

Sebaliknya, sekolah-sekolah Islam sudah relatif lama memiliki pengalaman dalam mengembangkan ilmu-ilmu umum. Para pengelola sekolah Islam mengadopsi sistem sekolah Belanda. Karena itu, sekolah-sekolah Islam relatif kuat dalam ilmu-ilmu umum. Tetapi, ternyata keunggulan sekolah Islam dalam ilmu-ilmu umum belum bisa menjamin mendapatkan kepercayaan dari kaum muslimin. Para pengelola sekolah Islam merasa perlu untuk mengembangkan ilmu-ilmu agama, di samping ilmu-ilmu umum. Karena itu, mereka masih menghadapi problem dengan pengembangan ilmu-ilmu agama di sekolah Islam.

Madrasah didirikan dengan maksud untuk mengembangkan lembaga pendidikan Islam yang memiliki keunggulan dalam ilmu-ilmu agama seperti pesantren dan memiliki keunggulan dalam ilmu-ilmu umum sebagaimana sekolah Islam. Ternyata tidak mudah membangun madrasah seperti yang diharapkan itu. Madrasah yang berhasil dibangun belum sepenuhnya dapat mencapai tujuan tersebut. Bahkan, kebanyakan madrasah masih menghadapi problem dari kedua jenis ilmu tersebut. Dari segi ilmu agama, lulusan madrasah masih kalah dari pesantren dan dari segi ilmu umum masih kalah dari sekolah Islam, kecuali beberapa madrasah.

Di samping itu, pesantren belum sepenuhnya bebas dari problem stigma negatif seperti dianggap eksklusif, radikal, fundamental, dan dikaitkan dengan isu teroris. Pendidikan Agama Islam (PAI) baik di sekolah Islam maupun di sekolah umum masih kebanjiran kritik, seperti terlalu normatif, doktriner, *cognitive oriented*, dan masih belum bisa membentuk

kepribadian muslim. Madrasah menghadapi problem lebih serius, seperti dianggap sebagai lembaga pendidikan kurang kompetitif, kualitas lulusannya masih dipertanyakan, 40% gurunya *mismatch* (guru mengajar tidak sesuai dengan disiplin ilmunya, misalnya lulusan PAI mengajar Bahasa Inggris, lulusan syari'ah mengajar Matematika), sarana dan prasarana pendidikan serba kurang, manajemen pengelolaan kurang profesional, dan problem-problem lain.

Pada umumnya pengelola pesantren memiliki keyakinan bahwa jika lulusan pesantren dapat mencapai kebahagiaan di akhirat, secara otomatis mereka akan dapat mencapai kebahagiaan dunia. Tetapi kenyataan menunjukkan lain bahwa sebagian lulusan pesantren belum cukup memiliki kemampuan untuk merespon kehidupan di dunia dengan baik. Dengan demikian, semakin terasa perlunya pesantren mengembangkan ilmu-ilmu tradisional sekaligus ilmu-ilmu modern guna mencapai kebahagian baik di dunia maupun di akhirat.

Problem yang dihadapi madrasah disebabkan oleh berbagai faktor yang sangat komplek. Dari segi manajemen, madrasah dikelola Departemen Agama yang masih sentralistik, sedangkan sekolah sudah mengikuti otonomi daerah. Konsekuensinya, banyak pemerintah daerah yang tidak merasa ikut memiliki madrasah. Karena itu, kebanyakan madrasah tidak mendapatkan anggaran dari APBD (Provinsi dan Kabupaten/Kota). Madrasah juga tidak mendapatkan kesempatan untuk mengikuti training-training pengembangan tenaga pendidik dan kependidikan, dan fasilitas-fasilitas lain dari pemerintah daerah.

Pendidikan tinggi Islam (PTI) di Indonesia, menurut Zamroni walaupun jumlahnya relatif banyak (lebih dari 453 buah), tetapi dalam peta perguruan tinggi di Indonesia, kebanyakan masih menempati posisi di pinggiran.¹² Orientasi pendidikan tinggi Islam, sebagai subsistem

pendidikan tinggi nasional, ikut terpengaruh *transfer of knowledge*, sebatas yang terkait erat dengan masalah kerja dan perolehan gelar akademik, bukan untuk mengembangkan kemampuan manusia secara *kaffah*.¹³

Memasuki era globalisasi, PTI menghadapi problem serius terkait kualitas lulusannya. Untuk memenuhi tuntutan tersebut, PTI perlu mengkaji ulang visi, misi dan paradigma yang mendasarinya. Bangunan ilmu pengetahuan yang dikotomik antara ilmu-ilmu tradisional (agama) dan ilmu-ilmu modern (umum) harus diubah menjadi pandangan baru yang lebih *holistik* atau setidak-tidaknya bersifat komplementer.¹⁴

PTI sangat strategis untuk mengurai benang kusut krisis pemikiran dalam Islam yang berdampak pada stagnasi dan kemunduran peradaban umat Islam. Reformasi umat Islam yang berorientasi pada kemajuan harus bermula dari pendidikan.¹⁵ PTI sangat strategis untuk mengembangkan tradisi ilmiah umat Islam yang peduli terhadap persoalan-persoalan bangsa.¹⁶

PTI masih menghadapi berbagai tantangan dan masalah, antara lain: *pertama*, setelah enam IAIN/STAIN berubah menjadi Universitas Islam Negeri (UIN) tidak hanya berkesempatan mengembangkan ilmu-ilmu agama, tetapi juga ilmu umum (sosial, alam, dan humaniora). Dengan perubahan itu diharapkan upaya untuk mengintegrasikan ilmu agama dan ilmu umum dapat terealisir. *Kedua*, dengan peningkatan otonomi yang lebih besar, PTI diharapkan dapat mengembangkan dirinya secara lebih maksimal. *Ketiga*, peningkatan akuntabilitas PTI dari segi kelembagaan dan akademis sehingga alumninya lebih profesional, ahli, dan terampil. *Keempat*, peningkatan kerja sama dengan perguruan tinggi lain, guna menciptakan sinergi yang dapat mendorong akselerasi peningkatan mutu pendidikan di PTI.¹⁷

Problem pendidikan Islam yang paling mendasar dewasa ini adalah

problem ideologi.¹⁸ Umat Islam tidak dapat mengaitkan secara efektif pentingnya pengetahuan dengan orientasi ideologinya. Akibatnya, mereka tidak terdorong untuk belajar. Bahkan, mereka tidak sadar kalau berada di bawah perintah moral kewajiban Islam untuk menuntut ilmu pengetahuan.¹⁹ Problem berikutnya adalah adanya dualisme dalam sistem pendidikan umat Islam sebagai akibat dari adanya dikotomi ilmu tersebut. Pada satu sisi terdapat sistem pendidikan tradisional (Islam) mulai dari Madrasah Ibtidaiyah (MI) sampai PTI. Pada sisi lain, terdapat sistem pendidikan sekuler modern (umum) mulai dari Sekolah Dasar sampai Perguruan Tinggi Umum (PTU) yang tidak menyentuh sama sekali ideologi dan nilai-nilai Islam. Kenyataanya, kedua sistem pendidikan ini sama-sama tidak beresnya.²⁰

Dalam pandangan Islam, ilmu sudah terkandung secara esensial dalam al-Qur'an. Beragama berarti berilmu dan berilmu berarti beragama. Karena itu, tidak ada dikotomi antara agama dan ilmu. Ilmu tidak bebas nilai, tetapi bebas dinilai atau dikritik. Menilai atau menggugat kembali keabsahan dan kebenaran suatu pendapat adalah keniscayaan.²¹ Tujuan pendidikan, menurut al-Qur'an, adalah untuk mengembangkan manusia menjadi pribadi yang kreatif, yang memungkinkan memanfaatkan sumber-sumber alam untuk kebaikan umat manusia dan untuk menciptakan keadilan, kemajuan, dan keteraturan dunia.²²

Paradigma ilmu pada PTI meliputi berbagai kesadaran, yaitu: *pertama*, ilmu itu secara esensial terkandung dalam ajaran Islam. Pertumbuhan dan perkembangan suatu ilmu senantiasa bersumber dari nilai-nilai ajaran Islam. *Kedua*, Islam tidak mengenal dikotomi antara ilmu dan agama. Keduanya tidak dapat dipisahkan, tetapi dapat dibedakan dalam setiap posisi dan perannya. Kebenaran ilmu bersifat empirik dan relatif. *Ketiga*, ilmu itu diciptakan manusia. Hanya saja, sejak awal penciptaannya,

pengembangan dan pengamalan ilmu sudah diniatkan untuk mengabdi kepada Sang Maha Pencipta.²³

Setiap peradaban umat manusia itu selalu dilandasi oleh ilmu pengetahuan. Begitu juga peradaban Islam, baik ketika masa kejayaan maupun ketika masa kemunduran, tidak bisa lepas dari ilmu pengetahuan yang melandasinya. Pada masa kejayaan peradaban Islam, belum dikenal adanya pertentangan antara ilmu umum dan ilmu agama. Hal ini didukung oleh fakta sejarah bahwa banyak pemikir Muslim yang ahli agama juga ahli kedokteran, kimia, sosiologi, perbintangan, dan sebagainya. Tetapi pada abad modern, ilmu cenderung dipertentangkan antara ilmu agama (tradisional) dan ilmu modern (sekuler). Akibatnya, jarang ditemukan ilmuwan Muslim sekaligus ahli kedokteran, kimia, ekonomi, atau yang lainnya.

3. Upaya Pembaharuan Pendidikan Islam di Indonesia

Menurut A. Mukti Ali pembaharuan pondok pesantren difokuskan pada sistem pendidikan dan pengajaran dengan argumen (1) di pondok pesantren terdapat madrasah, (2) tolok ukur baik atau tidaknya pondok pesantren terletak pada seberapa jauh dapat menunjang pembangunan Nasional, (3) pondok pesantren, pada umumnya, berada di luar kota atau di desa-desa dan sebagian besar santri adalah anak-anak petani dan nelayan, dan (4) pondok pesantren mempunyai jasa yang besar dalam kebangkitan nasional dan dalam mempertahankan Negara Republik Indonesia, serta (5) merupakan tempat pendidikan yang paling utama dalam menanamkan dan menyiarkan ajaran Islam di kalangan masyarakat Indonesia.²⁴

Sasaran yang akan diperbaharui adalah *pertama* mental mau dibangun diganti dengan mental membangun, yang memiliki ciri-ciri (a) sikap terbuka, kritis, dan suka meneliti, (b) melihat ke depan, (c) teliti dalam

bekerja. (d) mempunyai inisiatif dalam menggunakan metode-metode baru untuk berbuat sesuatu sekalipun anggota masyarakat lainnya belum atau tidak mempergunakannya. (e) lebih sabar dan tahan bekerja dan (f) bersedia bekerja sama dengan lembaga-lembaga lain. *Kedua*, pembaharuan kurikulum pondok pesantren, dan *ketiga*, pengajaran dan pendidikan yang berhubungan dengan ketrampilan kerja. Pembaharuan pondok pesantren diarahkan untuk jangka pendek supaya dapat mencukupi tenaga kerja tingkat rendah dan menengah, dan untuk jangka panjang, supaya dapat ikut aktif dalam pembangunan untuk menciptakan masyarakat adil makmur lahir batin.²⁵

Pembaharuan di pondok pesantren dilakukan dengan cara menerapkan kurikulum "Madrasah Wajib Belajar"²⁶ secara bertahap. Departemen Agama supaya membentuk panitia perencana dan koordinasi *Pilot Project* pokok-pokok gagasan pembentukan proyek-proyek perintis, dan (2) mengadakan koordinasi dan supervisi terhadap pelaksanaan proyek-proyek perintis tersebut. Di samping itu, Depag juga membentuk panitia Kemudian, kurikulum supaya diorientasikan pada kehidupan dan lapangan kerja di masyarakat.²⁷ Adapun pelaksana-pelaksana pembaharuan ustaz sebagai pelaksana langsung, (2) para supervisor sebagai pelaksana bantu, dan (3) para ahli yang telah maju dalam masyarakat.²⁸

Usaha pembaharuan sistem pengajaran dan pendidikan di pondok pesantren dilakukan dengan: (1) mengubah kurikulum supaya berorientasi pada kebutuhan masyarakat, (2) kurikulum *ala Madrasah Wajib Belajar* hendaknya digunakan sebagai patokan untuk reformasi itu, (3) mutu gurunya hendaknya ditingkatkan, juga prasarana-prasarana pendidikan

diperbaharui. (4) usaha pembaharuan ini hendaknya dilaksanakan secara bertahap dengan didasarkan pada hasil-hasil penelitian yang seksama tentang kebutuhan riil masyarakat yang sedang membangun. (5) hasil usaha pembaharuan ini memakan waktu panjang. Oleh karena itu, bagi pihak-pihak yang bertanggungjawab dalam sektor pembangunan di luar sektor pendidikan diharap adanya pengertian yang sungguh-sungguh untuk tidak lekas-lekas menarik kesimpulan bahwa pondok pesantren tidak penting diusahakan pembangunan dan pembaharuan. (6) Pada hakikatnya, pembangunan dan pembaharuan sistem pengajaran dan pendidikan di pondok pesantren sudah amat mendesak. Oleh karena itu, Departemen Agama dan pemimpin-pemimpin Islam, khususnya para Kiai, harus lebih serius menaruh perhatian dan bersikap positif terhadap usaha pembaharuan dan pembangunan pondok pesantren.²⁹

Selama beberapa dasa warga sejak tahun 60-an, Indonesia selalu didominasi oleh ABRI. ABRI memiliki pengkaderan yang sangat rapi dan bagus. Mulai dari pendidikan, mereka mempunyai Taruna Nusantara dan Akabri. Pejabat pemerintah mulai dari pusat sampai ke daerah hampir semuanya diisi oleh ABRI atau pensiunan ABRI. Padahal, status alumni madrasah ketika itu tidak dapat masuk ke Taruna Nusantara dan Akabri. Maka, jarang ditemui pejabat pemerintah yang berlatarbelakang pendidikan madrasah.

Karena itu, upaya pembaharuan madrasah difokuskan pada segi perbaikan statusnya. Usaha ini mulai tampak hasilnya dengan lahirnya Keputusan Bersama Menteri Agama, Menteri Pendidikan dan Kebudayaan, serta Menteri Dalam Negeri, tentang Peningkatan Mutu Pendidikan pada Madrasah, yang ditandatangani pada tanggal 24 Maret 1975. Keputusan Bersama Tiga Menteri ini kemudian lebih dikenal dengan SKB 3 Menteri. Maksud dan tujuan peningkatan mutu pendidikan pada Madrasah adalah

agar tingkat mata pelajaran umum dari Madrasah mencapai tingkat yang sama dengan tingkat mata pelajaran umum di Sekolah Umum yang setingkat, sehingga: (1) ijazah Madrasah dapat mempunyai nilai sama dengan ijazah Sekolah Umum yang setingkat. (2) lulusan Madrasah dapat melanjutkan ke Sekolah Umum setingkat lebih atas, dan (3) siswa Madrasah dapat berpindah ke Sekolah Umum yang setingkat.³⁰

Adapun, bidang-bidang peningkatan pendidikan mencakup: (1) peningkatan mutu pendidikan pada Madrasah meliputi bidang kurikulum, buku-buku pelajaran, alat-alat pendidikan lainnya dan sarana pendidikan pada umumnya, serta pengajaran; (2) untuk mencapai tujuan peningkatan mutu pendidikan umum pada Madrasah--ditentukan agar Madrasah menyesuaikan pelajaran umum yang diberikan setiap tahun di semua tingkat sebagai berikut: a) pelajaran umum pada Madrasah Ibtidaiyah sama dengan standard pengetahuan pada Sekolah Dasar, b) pelajaran umum pada Madrasah Tsanawiyah sama dengan standard pengetahuan pada Sekolah Menengah Pertama, dan c) pelajaran umum pada Madrasah Aliyah sama dengan standard pengetahuan pada Sekolah Menengah Atas; (3) untuk melaksanakan yang tersebut pada ayat (2) huruf a di atas, lama belajar pada Madrasah Ibtidaiyah dapat diperpanjang dari 6 tahun menjadi 7 tahun, atau menambah jam pelajaran setiap harinya.³¹

Pembaharuan madrasah berikutnya mengarah pada madrasah model yang dilaksanakan pada tahun 1993 melalui JSEP (*Junior Secondary Education Project*). Kemudian pada tahun 1998 dilanjutkan dengan BEP (*Basic Education Project*) untuk MI dan MTS, serta DMAP (*Development Madrasah Aliyah Project*) untuk MA. Pada akhir-akhir ini pembaharuan madrasah dilaksanakan oleh AIBEP (*Australia Indonesia Basic Education Project*) melalui MEDP (*Madrasah Education Development Project*).

Pembaharuan madrasah pada beberapa tahun terakhir difokuskan

pada pemenuhan madrasah sesuai dengan UU RI No 20 tahun 2003 tentang Sistem Pendidikan Nasional (Sisdiknas) dan Peraturan Pemerintah (PP) No 19 tahun 2005 tentang Standar Nasional Pendidikan (SNP). Menurut SNP bahwa pendidikan dasar dan menengah di Indonesia dituntut dapat memenuhi delapan standar, yaitu standar isi, proses, kompetensi lulusan, pendidik dan tenaga kependidikan, sarana dan prasarana, pengelolaan, pembiayaan, dan penilaian pendidikan.

Pada tahun terakhir ini pembaharuan madrasah di Indonesia mengarah pada Madrasah Bertaraf Internasional (MBI). Upaya pembaharuan madrasah menuju MBI dilakukan melalui dua cara, yaitu *pertama* dengan meng-*upgrade* madrasah yang memenuhi kriteria dan kesiapan untuk menjadi MBI, seperti MAN Insan Cendekia, Madrasah Terpadu Malang dan madrasah-madrasah lain. *Kedua* dengan cara mendirikan madrasah baru. Pada tahun anggaran 2009 ini sedang dibangun 12 MBI di 12 Provinsi di Indonesia. Kemudian, pada tahun anggaran 2010 akan dibangun MBI di propinsi-propinsi lain.

Pembaharuan pendidikan Islam juga dilakukan pada lembaga pendidikan tinggi Islam di Indonesia. IAIN Yogyakarta dan Jakarta yang telah menghasilkan banyak sarjana Islam, mulai tahun 1960-an, dikembangkan di kota-kota lain hingga jumlahnya mencapai 14 buah. Kemudian, fakultas-fakultas jauh dari IAIN, pada tahun 1996/1997, mandiri menjadi STAIN, yang jumlahnya mencapai 33 buah. Pembaharuan kelembagaan berikutnya, IAIN Jakarta berubah menjadi Universitas Islam Negeri (UIN), kemudian diikuti secara bersama-sama IAIN Yogyakarta dan STAIN Malang berubah menjadi UIN, serta IAIN Makasar, Bandung, dan Pekan Baru menjadi UIN. Perkembangan sampai tahun 2009 ini jumlah PTAIN di Indonesia mencapai 53, dengan rincian 6 UIN, 13 IAIN, dan 34 STAIN.

Pembaharuan PTAI mulai menemukan etosnya setelah tahun 1980-an IAIN Jakarta dan Yogyakarta mulai menyelenggarakan Studi Purna Sarjana (SPS) yang kemudian berkembang menjadi Program Pascasarjana (PPS) untuk program Magister (S2) dan dilanjutkan doktor (S3). Pada tahun 2000-an pembukaan S2 kemudian S3 dilakukan di beberapa IAIN lain seperti di Makasar, Aceh, Bandung, Semarang, Padang, Surabaya, dst.

Pembaharuan berikutnya, banyak PTAI di Indonesia menjalin kerjasama dengan al-Azhar melalui kunjungan profesor, dan banyak mahasiswa Indonesia yang meneruskan kuliah di sana.³² Selanjutnya, banyak PTAI menjalin kerjasama dengan berbagai perguruan tinggi, baik di dalam maupun luar negeri. Melalui Departemen Agama, UIN/ IAIN menjalin kerjasama dengan McGill University (Canada), Leiden (Belanda), Chicago (Amerika), dan Sorbon (Perancis).

Penutup

Akhirnya, sejalan dengan era globalisasi, reformasi, dan keterbukaan pendidikan Islam di Indonesia akan dapat semakin berkembang baik secara kuantitas maupun kualitas jika tersedia kondisi yang kondusif. Pemerintah Indonesia diharapkan dapat memfasilitasi apa yang diperlukan lembaga pendidikan Islam guna melakukan pembaharuan, serta mampu menciptakan suasana yang kondusif untuk dapat berkembang sesuai dengan etos dan jati diri dari masing-masing lembaga pendidikan Islam di Indonesia. Dengan demikian, lembaga pendidikan Islam di Indonesia dapat meningkatkan mutu lulusannya, hingga suatu ketika dapat melahirkan ilmuwan-ilmuwan kaliber dunia yang memungkinkan menghasilkan temuan-temuan yang dapat menyelesaikan problem-problem manusia.

Nota hujung

- 1) A Malik Fadjar "Jangan Ada Penyeragaman". *Gatra*, 30 September 2009, hal 154.
- 2) *Ibid.*, usia pendidikan Islam dari aspek kelembagaan formal ataupun kegiatan kemasyarakatannya sudah setua perjalanan Islam itu sendiri.
- 3) Azyumardi Azra "Revitalisasi Pendidikan agama". *Gatra*, 30 September 2009, hal 130.
- 4) A Malik Fadjar "Jangan Ada Penyeragaman". *Gatra*, 30 September 2009, hal 154.
- 5) Azyumardi Azra "Revitalisasi Perdidikan agama". *Gatra*, 30 September 2009, hal 130
- 6) *Ibid.*
- 7) *Ibid.*
- 8) Baca *Statistik Pendidikan Agama dan Keagamaan Tahun Pelajaran 2006-2007*, yang dikeluarkan Direktorat Jenderal Pendidikan Islam Depag RI, hal. 23.
- 9) Transformasi IAIN Sunan Kalijaga Menjadi UIN Sunan Kalijaga, Juni 2006, hal 5-7.
- 10) *Ibid.*, hal 9-17.
- 11) Baca *Gatra*, terbitan 30 September 2009 hal 112-115 dan 118-126.
- 12) Zamroni. "Sosok Ideal Pendidikan Tinggi Islam" dalam *Pendidikan Islam dalam Peradaban Industrial*, penyunting Muslih Usa dan Aden Wijdan SZ., Aditya Media, Yogyakarta, 1997, hlm. 28-31.
- 13) Lihat makalah Djohar, "Pendidikan Alternatif: Mencari Terobosan Baru dalam Kemandegan Pendidikan di Indonesia" yang disampaikan pada seminar tentang Pemikiran dan Metodologi Pendidikan, oleh LP3 dan FAI UMY, pada tanggal 25 Februari 2002.
- 14) Lihat H.A.R. Tilaar, *Beberapa Agenda Reformasi Pendidikan Nasional dalam Perspektif Abad 21*, Tera Indonesia, Magelang, 1998, hlm. 207-208.
- 15) Fazlur Rahman, *Islam*, hlm. 259-260.
- 16) Lebih lanjut baca Mastuhu, *Memberdayakan Sistem Pendidikan Islam*, hlm. x.
- 17) Satryo Soemantri Brojonegoro, dkk., "Implementasi Paradigma Baru di Perguruan Tinggi" dalam *Reformasi Pendidikan dalam Konteks Otonomi Daerah* (ed. Fasli Jalal dan Dedi Supriadi), Bappenas-Depdiknas-Adicita Karya Nusa, Yogyakarta, 2001, hlm. 368-369.
- 18) Maksudnya adalah ideologi Islam yang terkait dengan pentingnya ilmu, dimana Islam mengharuskan belajar dan mengembangkan ilmu pengetahuan bagi semua

3. Pembaharuan Pendidikan Islam pada Masa Kini

- pemeluknya sesuai dengan kemampuan mereka masing-masing.
- 19) Lihat Fazlur Rahman "The Qur'anic Solution of Pakistan's Education Problems", hlm. 315-326.
 - 20) *Ibid.*
 - 21) Mastuhu, *Memberdayakan Sistem Pendidikan Islam*, hlm. 9.
 - 22) Lihat Fazlur Rahman "The Qur'anic Solution of Pakistan's Education Problems", hlm. 315-326.
 - 23) Mastuhu, *Memberdayakan Sistem Pendidikan Islam*, hlm. 219-220.
 - 24) A. Mukti Ali, *Beberapa Masalah Pendidikan di Indonesia*, Yayasan Nida, Yogyakarta, 1971, hlm. 18.
 - 25) *Ibid.*, hlm. 19 -20.
 - 26) Kurikulum Madrasah Wajib Belajar adalah kurikulum yang disusun oleh H.A.M.Arifin Temyang diperuntukkan anak yang berusia 6-14 tahun. Kurikulum ini menekankan kemajuan ekonomi, industrialisasi, ketrampilan, swadaya dan daya cipta. Kelas I memerlukan kebun bunga seluas 50m untuk menanam dan memelihara bunga yang dapat dijadikan bahan pelajaran untuk jam kerja tangan. Kelas II mempunyai tanah seluas 100m untuk kebun sayur yang ditanami dan dikerjakan oleh murid sendiri. Kelas III dibuat 3 buah kandang ayam untuk 20 ekor ayam dan satu buah kandang untuk 5 ekor biri-biri, kesemuanya diatas tanah 300m. Ternak itu dipelihara oleh murid. Kelas IV dibuatkan kolam seluas 100m tempat untuk memelihara ikan berbagai jenis yang dipelihara dan diawasi oleh murid sendiri. Kelas V memerlukan pertukangan dengan alat-alat tukang kayu, anyaman pandan, bambu atau rotan. Kelas VI disediakan tanah serta alat-alat untuk persawahan dan untuk kerja tangan. Kelas VII dan VIII selama seminggu setiap bulan murid-murid dititipkan pada perusahaan-perusahaan desa seperti gilingan padi, pabrik kecap, tahu, tempe, pabrik batu bata, genteng, semen, bengkel besi, pandai besi, perkebunan, dsb.
 - 27) A. Mukti Ali, *Beberapa Masalah Pendidikan di Indonesia*, hlm. 21-22.
 - 28) *Ibid.*, hlm. 23.
 - 29) *Ibid.*, hlm. 26.
 - 30) Secara detail baca "Keputusan Bersama Menteri Agama, Menteri Pendidikan dan Kebudayaan serta Menteri Dalam Negeri, No. 6/ 1975; 037/U/1975; 36/ 1975 Tentang Peningkatan Mutu Pendidikan Pada Madrasah", BAB II, Pasal 2.
 - 31) *Ibid.*, BAB III, Pasal 3.

- 32) Fazlur Rahman. *Islam and Modernity: Transformation of an Intellectual Tradition*, hlm. 126-127.

ISBN 978-4-903878-10-2

Asian
Cultures
Research
Institute

東南アジア・マレー世界のイスラーム教育
—マレーシアとインドネシアの比較—

西野節男 編

